

コミュニケーション英語 I ENGLISH NOW English Communication I

年間指導計画案

1. 到達目標

- 英語を聞いたり読んだりすることにより、生徒にとって身近な話題や生徒の教養を高める分野に関する情報を得たり、相手が何を考えているのかを理解したりする力をつけさせる。
- 基礎的な英語を使って、話したり書いたりする力をつけさせる。これにより、情報を相手に伝えたり自分の考えを伝えたりするコミュニケーション能力を育成することが可能となる。

2. 学習計画および評価方法

(1) 年間学習計画等

学期	月	学習内容とねらい (配当時数) 計 84 時間	備考 (学習活動の特記事項)	考查範囲
第 1 学期	4 月	Let's Start ① アルファベット (ブロック体の大文字・小文字/キーボード) (0.5)	<ul style="list-style-type: none"> 英語の文字を確認する。また、発音に慣れる。 辞書に慣れる。いろいろな単語を調べる。 Classroom English を積極的に使用し、慣れる。 発音やアクセントに注意して聞き分けたり、言ってみたりする。 	第 1 学期中間考查
		Let's Start ② 英語の辞書を引く (0.5)		
	Let's Start ③ Classroom English (先生が話す英語/生徒が話す英語) (1)			
	Let's Start ④ 英語の音に慣れる (発音/アクセント) (1)			
		Lesson 1 "Hello, Everyone." (4) <題材> 早く友だちをつくりたい翔太が、自分のことをわかってもらうためにクラスで自己紹介をする。 <機能・表現> 自己紹介の表現 (説明や描写する表現) <言語材料> ①be 動詞・一般動詞 (肯定文) ②助動詞 (肯定文・否定文)		
	5 月	Lesson 2 Text Message (5) <題材> 英語と日本語のメールの違い、顔文字の違いについて理解する。 <機能・表現> メールの記事と顔文字/説明や描写、理由を述べる表現 <言語材料> ①be 動詞・一般動詞・助動詞 (疑問文) ②疑問詞を使った疑問文	<ul style="list-style-type: none"> 短いメールを英語で作成し、ペアやグループで確認する。また、それぞれの返信も書いてみる。 	
		Let's Communicate 1 電話をかけよう (2) 美樹がトムを電話でテニスに誘う設定で、ロールプレイを行う。また、設定を変えて、いろいろなパターンの対話練習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 電話での特有な表現に慣れる。 オリジナルな要素を対話に入れる。 	
		英語のしくみ ① (2) 『白雪姫』の物語を通して、単語の働きと品詞を理解する。また、基本的な文構造 (SV: 主語+動詞/SVC: 主語+動詞+補語) を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な文構造について確認し、身の回りのことを表現してみる。 	

第1学期	6月	Lesson 3 How Men and Women Talk (5) <題材> 母親のモリスさんが息子や娘と会話する際、どのような違いがあるか確認する。そこから、男女の会話の違いについて理解する。 <機能・表現> 説明や報告, 推論する表現 <言語材料> ①動名詞 ②接続詞を用いた文	・ペアまたはグループで男女の会話の違いについて確認し、英語で発表する。また、話す相手や場の違いについても話し合わせる。	第1学期期末考査
		Lesson 4 Sempai and Kohai (6) <題材> 年上の人に対して日本では「先輩」ということばをよく使うが、英語にも同じような表現があるかどうか確認する。文化が異なれば発想や表現方法が違うこともあることを知る。 <機能・表現> 説明したり描写したり, 理由を述べたりする表現/話題を発展させる表現 <言語材料> ①SVOC (主語+動詞+目的語+補語) ②形式主語の it	・身の回りで、文化の違いによる表現の異なるものを確認する。また、それらについてどのような印象を持つか意見を交換する。	
		英語のしくみ ② (2) 『白雪姫』の物語を通して、基本的な文構造 (SVO: 主語+動詞+目的語/SVOC: 主語+動詞+目的語+補語) を理解する。	・基本的な文構造について確認し、身の回りのことを表現してみる。	
第1学期	7月	Lesson 5 Kawaii (6) <題材> 日本には「カワイイ」ということばがあるが、「カワイイ」というものは国や文化が違えば感じ方はさまざまであることを理解する。 <機能・表現> 説明したり, 考えや意図を伝えたりする表現 <言語材料> ①現在完了形 ②現在完了進行形	・各自が「カワイイ」と思うものを取り上げ、話し合う。また、いくつかの特徴的な日本文化を取り上げ、外国人がどのように感じるかを推測する。	第1学期期末考査
		【課題・提出物等】 次のテーマについての「スピーチ原稿」、または「英作文」を提出させる。 ①自己紹介 (自分の好み, 趣味, 得意・不得意科目, 地域, 家族, 友人などについて) ②男女の会話スタイルの違い ③「カワイイ」と思うもの		
【第1学期の評価方法】 定期考査のほかに、課題 (提出状況と内容)、授業への意欲、授業中の発言や発表の状況などを加味して評価する。積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や、標準的な発音で英語を話そうと努力しているかどうかとも評価の観点となる。				
第2学期	9月	Lesson 6 A Friendly Hug (6) <題材> 日本とアメリカのあいさつの違いを理解する。アメリカでホームステイをすることになった誠が、空港での出迎えのシーンで驚いたこととはどのようなことだったのかを理解する。 <機能・表現> 描写する表現/考えや驚く気持ちを伝える表現 <言語材料> ①不定詞 (名詞的用法, 副詞的用法, 形容詞的用法) ②過去完了形	・異なる文化によって生じる行動の違いを予測する。また、いつもと違う行動を取られるとどのように思うかを発表する。	第2学期中間考査
		Let's Communicate 2 買い物しよう (2) 買い物でよく使う慣用表現を学ぶ。店員の言うことを理解し、自分の思いを適切に伝える。	・ショッピングで使う表現を用いて、ロールプレイを行う。	

第 2 学 期	10 月	英語のしくみ ③ (2) 『白雪姫』の物語を通して、基本的な文構造（SVOO：主語＋動詞＋目的語＋目的語）を理解する。いろいろな文構造で使用される動詞があることを理解する。	・基本的な文構造について確認し、身の回りのことを表現してみる。	第 2 学 期 中 間 考 査
		Reading 1 American or Not American? (6) アメリカの高校から日本へ交換留学生のグループがやってきた。日系アメリカ人のアンディーはホームステイ先の春子に話しかけても話してもらえない。春子はどうして冷たい態度を取るのか考える。	・固定観念で見えてしまう物事について話し合う。また、そのことによる失敗談などを発表し、ものの見方の多様性について理解する。	
		つづり字と発音 (1) 強勢のある母音字の発音は「長音」と「短音」に分けられる。ただし、一部の例外がある。この法則を知っていると、英語の音読に効果がある。	・つづり字を見て、ある程度、発音の見当がつけられるようになるレベルの基礎を養う。	
	11 月	時制を整理しよう (1) 時の表し方（過去／現在完了／現在／未来）を確認する。また、現在完了形、現在完了進行形、過去完了形の違いを理解する。	・身の回りのことを題材にして、それぞれの表現を用いて、言ったり書いたりする。	第 2 学 期 期 末 考 査
		Lesson 7 Mago no Mise (7) <題材> 三重県のある高校では、将来の職業と関連のある学習や活動をしている。レストランの特徴、運営に携わる高校生の様子、やりがいなどについて理解する。 <機能・表現> 報告や理由を述べる表現／説明したり、気持ちを伝えたりする表現 <言語材料> ①現在分詞、過去分詞の後置修飾 ②関係代名詞（which, that, who） ③関係副詞（where）	・中学・高校での職場体験の様子を話し合う。また、どのような職場体験をしてみたいか、その理由を含めて発表する。	
		Let's Communicate 3 道案内をしよう (2) 道案内の場面でよく使う基本表現を理解する。道をたずねる側と道を教える側に分かれて対話練習を行う。	・インフォメーション・ギャップを用いて、目的地を捜す活動を行う。また、身近な場所を設定して、ペアで道案内の練習をする。	
【課題・提出物等】 次のテーマについての「スピーチ原稿」、または「英作文」を提出させる。 ①日米のあいさつの違い（要約文） ②買い物での会話（オリジナル・ダイアログの作成） ③職場体験（または、アルバイト）の長所と短所				
【第2学期の評価方法】 定期考査のほかに、課題（提出状況と内容）、授業への意欲、授業中の発言や発表の状況などを加味して評価する。ディスカッションなどで積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や、標準的な発音で英語を話そうと努力しているかどうかを評価の観点となる。Readingの課では自分の感想を表現しようとする姿勢も評価する。				

第 3 学 期	1 月	Lesson 8 Communication in Soccer (6) <題材> 人気スポーツであるサッカーでは、技術と同様にコミュニケーションを図ることが大切である。だれの行動がきっかけとなり、日本代表チームにどのような変化が起きたのかを理解する。 <機能・表現> 気持ち、考えや意図を伝える表現 <言語材料> ①形式目的語 it ②関係代名詞 what	・スポーツで重要なことは何かについて意見を述べる。 コミュニケーションの大切さについて意見を出し合う。	学 年 末 考 査
		Lesson 9 Mottainai (6) <題材> 日本語の「もったいない」ということばは、ケニアの元環境副大臣ワンガリ・マータイさんによって世界に広まった。なぜ、どのようにしてそのことばが広まっていったのかを理解する。 <機能・表現> 説明したり理由を述べたりする表現／考えや意図を伝える表現 <言語材料> ①受け身 ②知覚動詞 (S+V+O+動詞の原形, 動詞の-ing形)	・どのような場面で「もったいない」ということばを使うか意見を出し合う。また、世界に広まっているほかの日本語について確認する。	
	2 月	Reading 2 The Story of Wangari Maathai (7) 日本語の「もったいない」を世界に広めたケニアのワンガリ・マータイさんが、母国での緑化運動(グリーンベルト運動)を始めるきっかけは何だったのかを読み取る。また、この運動の後、ケニアの人々の生活はどのようにになり、マータイさんの気持ちはどのように変わっていったのかを理解する。	・緑化運動の前後の人々の気持ちを想像してみる。 ・本文を要約する。	
		Let's Talk about Your Wishes. (1) 基本的な仮定法過去の文の意味と用法を理解し、それを使って簡単な自己表現をする。	・自分の願いや考えなどについて、仮定法過去の文を使って述べる。	
	3 月	英語のしくみ ④ (2) 『白雪姫』の物語を通して、従位接続詞 that や理由を述べる接続詞 because, その他の接続詞 (when, after, if) を含んだ文の意味と用法を理解する。	・身の回りのことを題材にして、各接続詞を含んだ英文を作る。	
	【課題・提出物等】 次のテーマについての「スピーチ原稿」、または「英作文」を提出させる。 ①コミュニケーションの利点 ②身近で実践している「もったいない」 ③身近で環境問題に取り組んでいることの要点			
【第3学期の評価方法】 定期考査のほかに、課題(提出状況と内容)、授業への意欲、授業中の発言や発表の状況などを加味して評価する。積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や、標準的な発音で英語を話そうと努力しているかどうかも評価の観点となる。Reading の課では自分の感想を表現しようとする姿勢も評価する。				
【年間の学習状況の評価方法】 定期考査に加え、授業中の英語学習に対する関心・意欲・態度、英語を理解し表現しようとするコミュニケーションへの姿勢、課題や発表活動への取り組み、標準的な発音で英語を話そうとする努力などを、1, 2, 3学期を通して総合的に評価する。				

<p>確かな学力を身につけさせるための指導の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・標準的な発音の英語を十分に聞かせて練習させることで、音声への認識を高めさせる。 ・基本的な文法事項を確実に身につけさせるために、音声を通して繰り返し練習させる。 ・身近な単語を与え、英文を書いたり、英語で表現したりする基礎的な力を身につけさせる。 ・英語で発表する機会を多く与え、英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲を育てる。
<p>授業を受けるに当たって生徒に守らせたい事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語学習の基本的習慣をつける。 ・課題や提出物を提出する。 ・恥ずかしがらずに積極的に英語を発音する。 ・基本的な文法事項や基礎的な単語力をつけるための練習を継続的に行う。 ・自分の意見を積極的に述べるなど、コミュニケーションを図る努力をする。

(2) 評価の観点、内容および評価方法

評価の観点および内容		評価方法
<p>関心・意欲・態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語に興味・関心を持ち、積極的に授業に参加してコミュニケーションを図ろうと努力しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加状況と意欲 ・課題等の提出状況とその内容
<p>外国語表現の能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見や事実を英語で表現したり説明したりしようと努力しているか。標準的な発音で英語を話そうと努力しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチや英作文 ・授業中の発言や活動への取り組み
<p>外国語理解の能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を注意して聞いたり読んだりして、相手の考えや文章の内容を理解しようと努力しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容理解の程度 ・ディスカッションへの取り組み ・要約文や感想文
<p>言語や文化についての知識・理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活で多く使われる表現を習得しているか。 ・英文の内容を十分理解し、知識を広げようと努力しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチやディスカッション、ペアワークなどへの取り組み ・英作文（要約文）の内容